

# 公民館と地域と学校の協働による知の好循環

～地域総がかりで子どもを育て、育った子どもが地域を創る～【長門市 菱海中学校区】

## 地域の概要

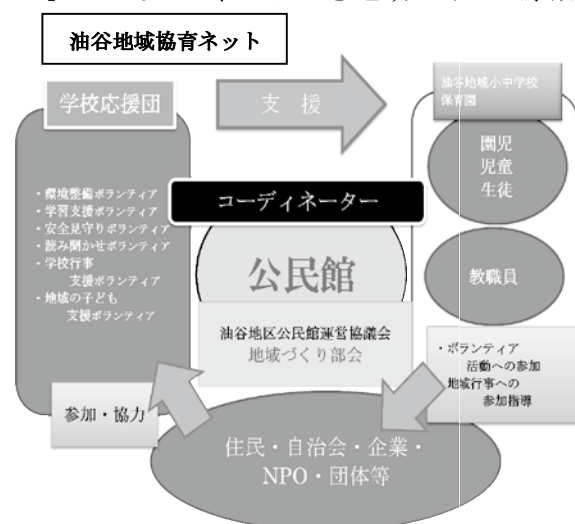
急速な少子高齢化が進む油谷地域では、高齢者の元気がまちづくりのポイントの一つとし、子どもたちから大人に笑顔が広がることで地域全体の活性化を図ることを目標としています。そして、育った子どもたちが地域を創る側になっていくために、大人から子どもへ「知」が好循環する油谷地域協育ネットを推進しています。

人口	6,211 人	
世帯数	2,956 世帯	
対象校及び児童生徒数	菱海中学校	97 人
	油谷小学校	140 人
	向津具小学校	30 人

## 組織の内容

【公民館と学校が協働する組織づくり】公民館の課題として、「よりよき地域づくり」があります。よりよき地域によりよき学校や子どもたちが存在します。学校や子どもたちがよくなることは地域がよくなることであり、地域がよくなることは学校や子どもたちがよくなることにつながります。

少子高齢化が急速に進む本地区では、学校や子どもたちを支援することを通して、逆に、子どもたちからエネルギーをもらい、その楽しさや喜びが「生きがい」へつながり、よりよき地域づくりの原動力となります。そのような大人の「学校応援団」を結成し、地域総がかりで子どもを育てる環境を整えているところです。また、育った子どもが、今度は地域を創る側に回るといった「知が好循環する地域づくり」につなげていこうとするものです。公民館がもつ「つどい・まなび・むすび・生かし合う」といった地域づくりの機能を活用し、公民館運営協議会の参画による地域住民主導の公民館をめざすとともに、地域の小・中学校や保育所の取組について、地域総がかりで支援をしていく体制を地域に広げていくコーディネートを公民館が行います。



## 特色・重点的な取組

【「地域協育ネット」を地域づくりにつなぐ】地域総がかりで子どもたちを育てる取組を通して、少子高齢化が進む地域に、大人同士がつながる仕組みを構築することで地域づくりにつなげていきます。そのために、PTAや「おしかけふれあい塾」の関係者をはじめとする様々な大人が学校応援団を結成し、学校における学習活動の支援や、地域での活動に関わることができる環境づくりの推進をしています。

【育った子どもが地域を創る】「地域協育ネット」の中で育った子どもたちが、成長過程でたくさんの出会いを通して自尊感情を高め、家族のみならず地域の人々の温かさや、人間としての素晴らしさを感じ取りながら育っていくことを大切にします。また、小・中・高の学校教育による地域ボランティアへの参加指導もあって、ふるさとの良さや素晴らしさに気付く取組が、やがては地域のためにできることや地域への恩返しといった「地域貢献」の意識や行動につながっていきます。大人の「知・実践」が、子どもの「知・実践」へとつながり循環していくことで、「『知』が好循環する地域づくり」をめざします。

## 主な活動の紹介

**【おしかけふれあい塾】** 公民館活動のグループが年に1回は学校へ行き、子どもたちと給食を共にし、昼休みや授業の支援をする活動を「おしかけふれあい塾」と称しています。この活動が子どもたちの体験の幅を広げ、地域住民とのふれあいによって自尊感情の向上に役立つ面もあり、一方で、大人の側の「生きがい感」も広がってきて、まさにWin-Winの関係が出来上がっています。



フォークダンス油谷



家庭科の授業支援



人丸囲碁クラブ



中学校・詩吟の授業支援



中学校・琴の授業支援



よみっこクラブ

## 【地域交流室の活用】



学校応援団の結団式

おしかけふれあい塾や授業支援、ゲストティーチャー等、たくさんの地域の大人や支援者が学校に出入りをするような光景が日常的になってきたことから、新校舎の竣工の際に「学校応援団」の旗揚げを行いました。また、学校を訪れた大人が気軽に打合せや情報交換をする場として「地域交流室」を活用しています。この場所は、大人同士がつながっていく大切な場所となっています。

## 成果と課題

**【成果】** おしかけふれあい塾のスタイルから授業支援の回数や関わる人の人数が増えてきました。また、大人の関わり方が、児童や生徒の発達に応じた関わりに変化しており、子どもたちの「わかった。」「できた。」「ありがとうございます。」といった声が多く聞かれるようになりました。公民館のコーディネートにかかわらず、担任による地域の大人との関わりが増えており、地域総がかりで子どもを育てる環境が次第に整ってきました。

**【課題】** 地域内3校それぞれが地域人材の活躍によって特色ある成果をあげている一方で、地域人材の高齢化を避けることはできません。この取組への関心をなお一層高め、広げていくかが課題です。

## 今後の取組

未来ある子どもたちを育てていく喜びを大人が共有することで、地域総がかりによる子ども育てが、実は、大人育ちにもつながっていることを自覚しながら、この取組を浸透させていきたいところです。新校舎竣工や校舎改築移転等子どもたちの環境の変化をチャンスと捉えて、大人が「集い・つながり・結び・生かし生かし合う」関係づくりを通して、地域総がかりで子どもたちを育てていこうとする「地域交流室」の環境づくりや意識の醸成を拡大・浸透させていく取組の継続が必要です。